

発刊のことば

国際キリスト教大学社会科学研究所が、その研究発表のための機関誌として、新たに『社会科学ジャーナル』を発刊することとなり、ここにその創刊号の刊行をみるにいたったことは、関係者のひとりとして、心から喜びにたえない次第である。

本研究所は、従来、調査研究に活潑に活動して来た農村厚生研究所の改組されたものであり、これまでの研究体制を基礎としているが、さらに、それに一步を進めてひろく社会科学の諸分野にわたる総合的調査研究を行う目的で設置されたものである。1958年9月創立後、直ちに、第一の研究対象として千葉県の一農村をえらび、昨年度まで継続して調査を行ったが、その研究成果は、『農村の権力構造』と題して、昨年11月に刊行された。この種の研究は、今年度も実施されており、将来も継続される予定であるので、成るに従って、一のシリーズとして、順次刊行されるはずである。

これに並行して、研究所々員各自が、それぞれの専門分野において行った個別的の研究についても、これを印刷公表して、ひろく世に聞きたいので、ここに別のシリーズとして、『社会科学ジャーナル』を発刊するにいたったものである。雑誌の性質上、第一のシリーズと異なり、これは、様々な論文の集成に過ぎないが、しかし研究の進展にしたがって、共通のテーマを、それぞれ違った角度から検討することもあるであろう。

社会科学研究所は、その一つの目的として、行政学大学院の設立の準備作業を行いつつある。この点では、行政の理論一般、あるいは日本における行政の本質、行政学の課題などの検討を、十分に行いたいと考えている。しかしいうまでもなく、行政は孤立してあるのではない。それは、日本における社会、政治、経済の歴史と現実の上のみ存在しているのである。したがって、本研究所の活動分野は、これらの社会科学の諸分野を包摂し、それらのインターディシプリナリーな協力を意図するものである。『社会

科学ジャーナル』の発刊が、このような方面での学界の活動に、少しでも
寄与することができれば、これにました喜びはない。

1960年5月1日

鵜飼 信成